

# 2021年4-6月期GDP速報（2次速報値）

## ～ ポイント解説 ～

令和3年9月8日

内閣府経済社会総合研究所

国民経済計算部

### [ 1 ] GDP成長率

2021年4-6月期のGDP成長率（季節調整済前期比）は、2次速報値において、実質0.5%増（年率1.9%増）、名目▲0.1%（年率▲0.5%）となった。1次速報値から、実質成長率は上方改定、名目成長率は下方改定となった<sup>1</sup>。

### [ 2 ] GDPの内外需別の寄与度

実質GDP成長率（季節調整済前期比）に対する内外需別の寄与度を見ると、民間在庫変動が下方改定された一方で、政府最終消費支出、民間企業設備が上方改定されたこと等により、国内需要（内需）の寄与度は0.8%増と1次速報値（0.6%増）から上方改定となった。財貨・サービスの純輸出（外需）については、▲0.3%と1次速報値と同じ寄与度となった。

### [ 3 ] 需要項目別の動向<sup>2</sup>

#### （1）民間需要の動向

民間最終消費支出については、実質0.9%増と1次速報値（0.8%増）から上方改定となった。

民間住宅については、実質2.1%増と1次速報値と同じ伸び率となった。

民間企業設備については、実質2.3%増と1次速報値（1.7%増）から上方改定となった。1次速報で仮置き値としていた需要側推計値について、「法人企業統計」（4-6月期）等を反映した結果、上方改定されたこと等による。

民間在庫変動のGDP寄与度については、実質▲0.3%と1次速報値（▲0.2%）から下方改定となった。主に、「法人企業統計」（4-6月期）の反映により仕掛品が下方改定となった。

<sup>1</sup> 1次速報値は実質0.3%（年率1.3%）、名目0.1%（年率0.2%）。

<sup>2</sup> 季節調整済前期比について解説。

## ( 2 ) 公的需要の動向

政府最終消費支出については、各種基礎統計の追加等により実質 1.3%増と 1 次速報値 (0.5%増) から上方改定となった。

公的固定資本形成については、6 月分の「建設総合統計」の反映等により、実質▲1.7%と 1 次速報値 (▲1.5%) から下方改定となった。

公的在庫変動の GDP 寄与度は、実質▲0.0%と 1 次速報値から変わらなかった。

## ( 3 ) 輸出入の動向

財貨・サービスの輸出については、実質 2.8%増と 1 次速報値 (2.9%増) から下方改定となった。財貨・サービスの輸入については、実質 5.0%増と 1 次速報値 (5.1%増) から下方改定となった。

## [ 4 ] デフレーターの動向

GDP デフレーターについては、季節調整済前期比で▲0.6%と 1 次速報値 (▲0.3%) から下方改定となった。前年同期比については、▲1.1%と 1 次速報値 (▲0.7%) から下方改定となった。「消費者物価指数 (CPI)」の 2020 年基準改定による遡及結果を反映した結果、前期比、前年同期比ともに下方改定となった。

## [ 参考 ]

### [ 1 ] G N I ( 国民総所得 ) の動向

2021 年 4-6 月期の実質 G N I 成長率は、季節調整済前期比で 0.1% 増 ( 年率 0.5% 増 ) と 1 次速報値 ( ▲0.0%、年率 ▲0.1% ) から上方改定となった<sup>3</sup>。名目 G N I 成長率については、季節調整済前期比で ▲0.1% ( 年率 ▲0.3% ) と 1 次速報値 ( 0.1% 増、年率 0.4% 増 ) から下方改定となった<sup>4</sup>。

### [ 2 ] 雇用者報酬の動向

2021 年 4-6 月期の雇用者報酬については、「毎月勤労統計」( 6 月分 ) の確報化等を反映した結果、前年同期比で名目 2.0% 増、実質 3.2% 増と、1 次速報値 ( 名目 1.9% 増、実質 2.5% 増 ) からそれぞれ上方改定となった<sup>5</sup>。季節調整済前期比については、名目 ▲1.7%、実質 ▲0.7% と、1 次速報値 ( 名目 ▲1.7%、実質 ▲1.4% ) から実質は上方改定となった。

(以上)

---

<sup>3</sup> 実質 G N I = 実質 G D P + 海外からの実質純所得 + 交易利得

<sup>4</sup> 名目 G N I = 名目 G D P + 海外からの純所得

<sup>5</sup> 実質雇用者報酬は名目雇用者報酬を家計最終消費支出 ( 除く持ち家の帰属家賃及び FISIM ) デフレーターで除して算出した参考値。